

## 平成27年度第16回社会学研究科委員会議事要旨

### I 審議事項

#### 1 平成28年度大学院博士後期課程第2次合・否決定について

研究科長より、博士後期課程入学試験第2次試験の合格者決定にあたっては、先ず進学者の決定を行い、その後、定員枠を勘案して編入学者の合格者を決定することとする旨、説明があった。

総合社会科学専攻については、進学者17名中、16名を合格者としていた旨提案があり、了承された。

総合社会科学専攻の、他大学からの編入学者の合格者について、11名中、9名を合格者としていた旨提案があり、了承された。

地球社会研究専攻については、進学者4名中、4名を合格者としていた旨提案があり、了承された。

地球社会研究専攻の、他大学からの編入学者の合格者について、4名中、1名を合格者としていた旨提案があり、了承された。

この結果、総合社会科学専攻については、入学定員35名に対して、合格者25名、地球社会研究専攻については、入学定員6名に対して、5名となり、社会学研究科博士後期課程の入学定員41名に対して、合格者30名となった。

\*また、受験者1名がインフルエンザに罹患したため、大学院教育専門委員会委員と協議した結果、別日(26日(金))に受験を認めることとし、合格最低点以上であれば合格としていた旨提案があり、了承された。

なお、合格した場合は、本日の合格者数に1名を加えることになる旨説明があった。

#### 2 平成27年度大学院修士修了者合・否決定について

研究科長より、修士課程最終試験の合格者決定については、総合社会科学専攻48名、地球社会研究専攻12名の合計60名を合格者としていた旨提案があり、了承された。

#### 3 その他